

松本泰 まつもと 小説家。明治二十年二月二十一日東京生れ。昭和十四年四月十九日歿（八八七一九元）。本名泰二。筆名藤井巖。明治四十五年慶應義塾大学文学部卒業。翌年以降、度々イギリス小遊學。大正八年歸國し高島屋入社。在學中から雑誌『ニ田文學』、『スバル』等小小説を發表。のち探偵小説に轉じた。妻は翻譯家松本惠子。

著譯書 『各國犯罪實錄』（編、大正十一年十一月二十五日小田書店）、

『或る年の記念』（大正十二年十月十五日奎運社）、『黄色い霧』（大

正十五年八月二十日奎運社『ポケット探偵叢書・創作探偵小説集』）、『思

本表集』（昭和二年七月一日平凡社『現代大衆文學全集』）、オルツ

イ作『紅菱笠』（譯、昭和四年五月二日改造社『世界大衆文學全集』）

『世界怪奇探偵事實物語集』（譯、昭和四年九月二日改造社『世界大

衆文學全集』）、『ゴゾラ叢書・第一編『ヤグ・ムウレの罪』』（譯、昭

和五年一月二十八日改造社）、『エーガー作『ノートルダム島の偏癡男』

』（譯、昭和五年二月二日改造社『世界大衆文學全集』）、『フレデリッ

ク・マツケンジイ著『結婚魔ランドル』』（譯、昭和五年九月十五日平

凡社）、『情痴殺人篇』（昭和五年十月五日天人社『世界犯罪叢書』）、

『女五人の謎』（昭和六年五月一日四六書院『新ごめめらん叢書』）、

イヤン・ハミルトン著『思ひ出の白熱戦争』』（譯、昭和七年二月十日

平凡社）、『倫敦の薔薇』（昭和十五年七月十五日青木書店）等。

